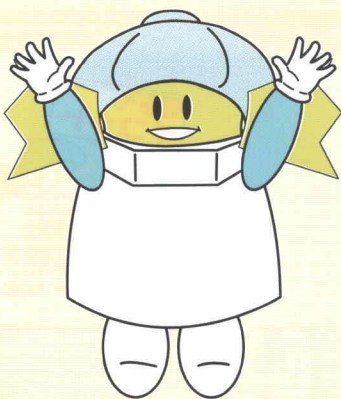


めいすいきょう 「明推協」ってなに？



横浜市 選挙マスコット
イコットJr.

正式名称を「**明るい選挙推進協議会**」といいます。

不正のないきれいな選挙と投票総参加をめざして活動している民間団体で、全国の都道府県・市区町村に設置されています。

令和5年1月現在、**都筑区では委員26名、推進員354名が活動**しており、これは市内でも最多となっています。

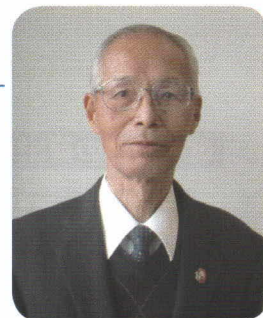
都筑区明推協の特徴として、15の地区協議会による独自の啓発事業があります。地域で行われる夏祭りや運動会などのイベントに参加して啓発を行うなど、**地域密着での啓発**をしています。

そのほか、都筑区選挙管理委員会が主催する区内小学校への出前授業に協力したり、**選挙時には区民の皆さんに街頭で直接投票を呼び掛けたり**するなど、多くの活動をしています。

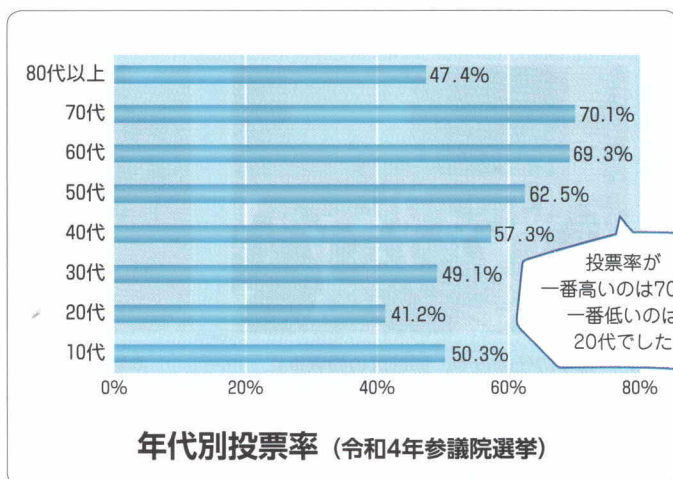
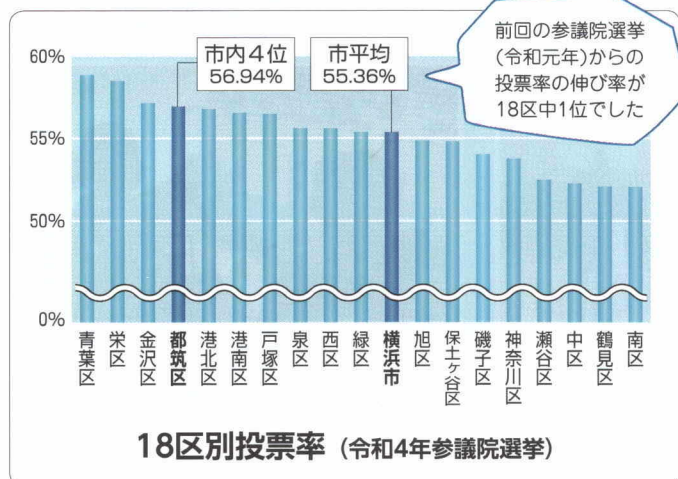
久保勝治会長 挨拶

一人でも多くの有権者に「投票へ行こう」と思ってもらえることを目標に活動しています。近年はコロナ禍の影響を受け、明推協も思うような活動ができない状況にありましたが、令和5年は徐々に従来の活動を再開していきたいと考えています。

本紙を機に、明推協の活動をより多くの方に知っていただき、投票に行くきっかけとなれば幸いです。



■ 都筑区の投票率はどれくらい？



都筑区明推協の活動 (令和4年度)

〈都筑区選挙管理委員会への協力〉

選挙の際は、毎回、期日前投票所での立会人業務に協力しています。

令和4年の参議院選挙でも17日間、のべ50人の委員・推進員が立会人として従事し、都筑区の選挙において重要な役割を担っています。

〈各地区での活動〉

各地区協議会が企画した事業により、地域に密着した啓発活動を実施しました。

せんきょフォーラム（下記参照）への協力や、自治会で行われる地域行事に参加して啓発物品を配布するなど、各地区協議会の工夫を凝らした啓発が実施されました。



地区のイベントにて、啓発用ティッシュを配布(池辺町地区)



せんきょフォーラムにて、投票管理者・立会人として協力

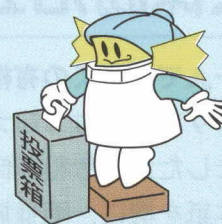
左：中川地区
右：柚木荏田南地区



〈未来の有権者育成事業〉

選挙器材の貸出し

将来の有権者である児童・生徒の、選挙への関心を高めるため、区内の中学校・高等学校へ生徒会選挙等への選挙器材の貸出しを実施しました。



せんきょフォーラム

都筑区内の小学6年生を対象に、選挙に関する授業と模擬選挙（投開票）を実施しました。実際の選挙と同じ器材を用い、候補者演説や投票・開票の事務を通じて、本物に近い選挙を体験してもらいました。こどもたちからも「選挙の大切さがわかった」「本物の選挙に行ってみたい」といった感想をいただきました。



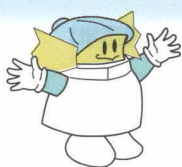
選挙の仕組みや、都筑区の投票率について学びました



本物の記載台を使い、投票用紙に記入しました



開票作業も、児童自ら行いました



各地域の皆さまのご協力をよろしく申し上げます。
今後も、選挙への関心が高まるような啓発活動を実施していきます。